令和3年度第1回周南市空家等審議会会議録

- 日時：令和4年2月28日（水）14時00分～15時00分
- 場所：周南市役所 2階 共用会議室F
- 出席者：審議会委員6名
- 事務局：7名
住宅課（野村部長、櫛部課長、丸子補佐、宗田係長、梶屋主査、伊藤副主任）
建築指導課（永尾補佐）
- 傍聴者：非公開につきなし

1. 開会

2. 建設部長あいさつ

3. 出席状況報告

○事務局

出席状況報告 出席委員6人。会議成立。

会議は原則非公開。議事録の公表。

4. 議事

(1) 開会

○古田会長 最初に、議事録の署名委員を徳重委員にお願いしたいと思うが、よろしいか。

○委員 承知する。

(2) 危険空家の進捗状況について

○会長 事務局から「危険空家の進捗状況について」報告をお願いします。

○事務局 （危険空家の進捗状況について報告）

○会長 事務局から説明があったが、ご質問、ご意見はあるか。

○会長 無いようであれば、私から、解体費用についてこんなに掛かるものなのか。

○事務局 ご指摘の部分については、市が工事をする前提で業者より見積もりを取ったのですが、家の前に電線が通っており、それをまたぐ形での工事となることや、家も広いため、高額になったと聞いています。所有者が別の業者に見積もりを取ったときは、市で発注するよりも低額となっています。

○委員 土壁の処理は高いと聞いているが。

○事務局 土壁の処分に費用が掛かるため、その分高額となることも考えられます。

○委員 代執行となると市が発注するが、費用は持ち主が払う仕組みでよいか。

○事務局 代執行となると市が設計し、発注します。費用については市が一旦支出しますが、所有者の方から回収させていただくようになります。

○会長 なるべく解体費が安くなる方向に進むと良いと思う。

(3) その他

○会長 次に、その他として、空家等実態調査結果及び令和4年度からの空家対策について報告があるとのことなのでお願いします。

○事務局 (空家等実態調査の状況を報告)

○会長 事務局から説明があったが、ご質問、ご意見はあるか。

○委員 どういった空き家が適切か、そうでないか、調査における判断基準を教えてください。また、使用中と回答されている方については、どういったものになるのか。

○事務局 空家等実態調査の調査票を基に、現地(外観)調査をしています。まず、管理度として、建物の状況を「外壁」、「屋根」、「窓ガラス」、「全体」の4つの項目を、大きく破損、一部破損、なしの3段階で判定します。次に、敷地の状況について、「雑草の管理」、「樹木の管理」、「ゴミの状況」の3つの項目を適切、やや不適切、不適切の3段階で判定。それらを基に総合判定を、適切な管理、やや不適切、不適切3段階でしています。

その他、周囲への影響度として、隣家への影響をあり、相隣関係、なしの3段階で判定。前面道路通行人への影響についても、なし、限定した人に影響あり、不特定多数に影響ありの3段階で判定しています。

使用中については、倉庫としての使用や時々使っているが多数。空き家といっても受け取り方は様々で、施設等に入って人がいない状態でも住んでいるとの回答も見受けられました。

○委員 リフォーム補助について、いつから始まっているのか、告知はいつからか。

○事務局 来年度4月1日から実施予定です。募集開始等の告知は5月1日号の広報等と考えております。

- 委員 解体補助について、鉄筋コンクリート造を外した理由を教えてください。
- 事務局 解体補助は住宅を対象にしており、住宅については、木造、軽量鉄骨造が多いこと、空き家実態調査結果から、状態が悪いものについては木造が大半のためです。
- 委員 空き家実態調査結果の開示ができないか。実態調査をする際は、自治会にも連絡していただきたい。
- 事務局 空き家実態調査の中で、わからないケースは近隣の方に尋ねたり、自治会長に尋ねたケースもあったように聞いております。結果の開示については個人情報がありますので、今後考えてみたいと思います。ただ、自治会との連携については今後も続けたいと考えております。
- 委員 実感として空き家は増えているのか。
- 事務局 どんどん増えてきているという実感です。相談、問い合わせも毎日きております。
- 委員 県の制度であるやまぐち三世代同居、近居パスポート制度について周南市の取り組みはあるのか。
- 事務局 周南市独自のものは無く、県の制度についての情報提供をしています。
- 会長 その他の質問や意見はございませんか。無いようであれば議事につきましてはこれで終了する。皆様ご協力ありがとうございました。

(議事終了)

5. 閉会